

経営比較分析表（令和3年度決算）

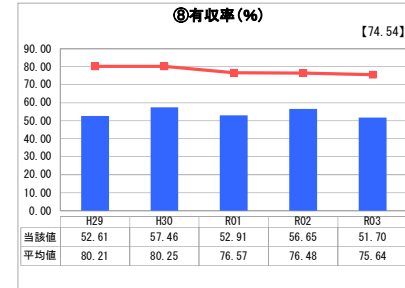
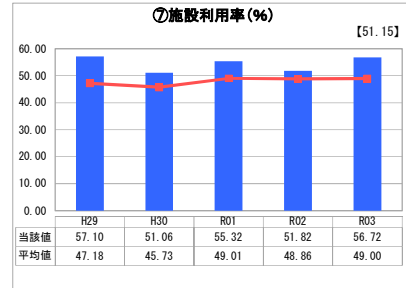
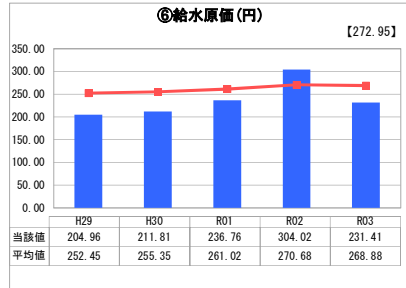
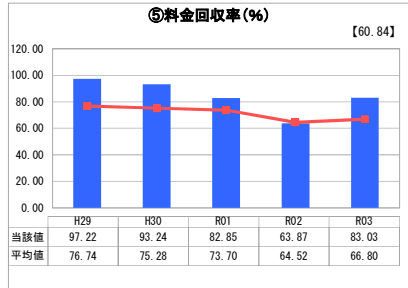
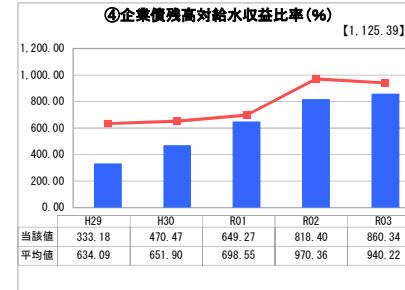
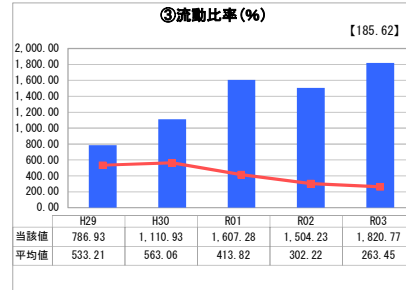
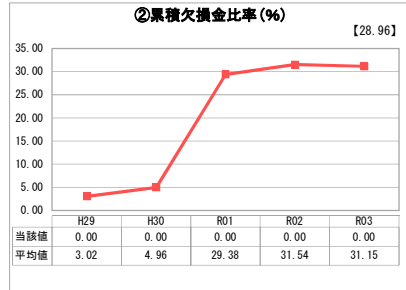
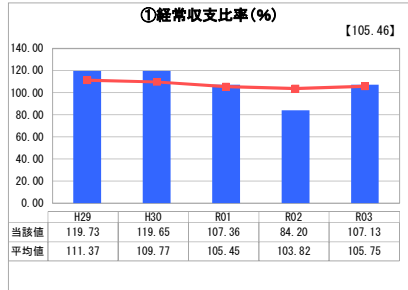
北海道 津別町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	60.56	94.22	4,400	

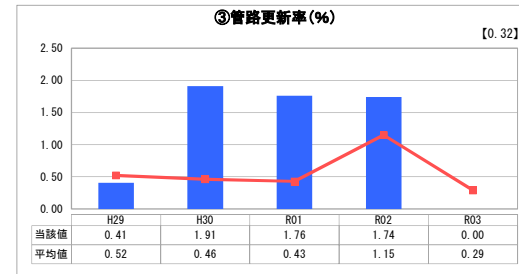
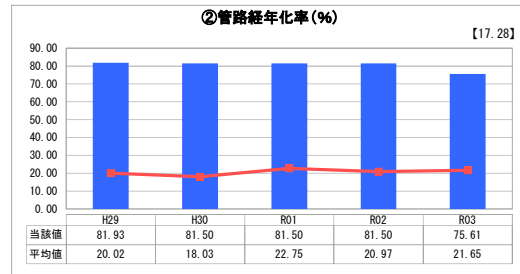
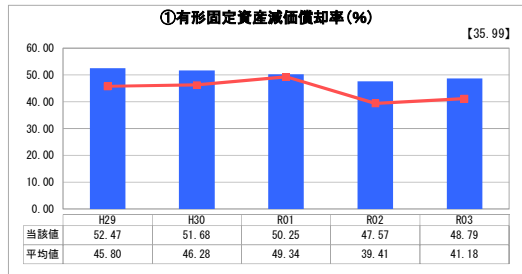
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,331	716.80	6.04
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,029	56.42	71.41

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度は、大規模な水道管路の更新があったことから除却額が大きくなっていったため経常収支比率等が、類似団体との比較で下回るなどの傾向が見られたが、当年度は、特殊事情が無かったことから、概ね例年並みの経営状況となった。

流動比率は他団体よりも高く、経営の自由度は高く見えるが、更新事業の実施による起債借入残高も同様に大幅に増加していることから、今後の経営にあたっては慎重な判断が必要となる。

料金回収率については、前年度より回復基調にあり、今後は料金改定の効果等も期待できることから、今後は他団体よりも着しく低くなっている管渠更新率の改善に反映させたい。

有収率については、類似団体よりも大幅に低い状況となっており、経営的にも改善が必要な項目であることから、今後は経営状況とのバランスを取りながら老朽施設の更新を行うことで、計画的に状況の改善を図りたい。

2. 老朽化の状況について

類似団体に比して施設の老朽化が進んでいることから、今後における重要な課題となっている。

改善のためには、大きな投資を要することから経営の長期計画に組み入れながら更新を進めていくことが必要となるが、安全安心な給水を継続する体制を確保することは、健全な水道事業経営を継続するためには必須事項として認識し、進めていく必要がある。

全体総括

財務諸表上の健全性は、概ね類似団体と同等の内容で推移しているが、今後の人口減少による給水収益の減少が予想される。

また、老朽施設の継続的な更新が必要となっているが、更新投資により生じる起債の償還が、今後の経営に与える影響が大きくなることから明らかであるため、経営状況を適切に把握し、経営改善に向けた努力を継続しなければならない。